

## 世界初のひび割れ計測技術でタイの橋を守る

～日本の橋梁点検・維持管理技術の現地移転をめざす～

国際協力機構（JICA）はこのたび、クモノスコーポレーション株式会社（大阪府箕面市）と「ひび割れ計測システムを活用した橋梁維持管理手法の普及・実証事業※」を契約しました。

タイでは橋梁の新規建設が増加する一方で点検・管理の技術は遅れており、橋梁を長く安全に使うための予防保全の仕組みが求められています。

一般的に、トンネルや橋、ダムなどのひび割れ調査は、計測した結果がスケッチで提出されることから不正確なもので、また危険を伴った高所での作業も発生します。クモノスコーポレーションが開発した「KUMONOS」は、離れた所から正確且つ安全にひび割れを計測できる世界初のシステムです。2007年に土木学会で発表した際、ひび割れ計測を変える革新的な技術として日本はもとより海外の学会からも注目を集めました。本事業では、チュロンコン大学およびタイ運輸省高速道路局の協力のもと、現地で KUMONOS を用いた道路橋梁計測を行い、日本で長年培った点検ノウハウやデータ活用方法をタイの技術者や専門家・政府関係者に移転することを目指します。また、セミナー等を開催し、予防保全や点検の重要性を啓発する予定です。



KUMONOS を用いた計測風景



現地での説明の様子

同社は9月中旬には第一回渡航調査を行い、チュロンコン大学をはじめとした関係者との協議や現状調査を行いました。インフラ建設が急速に進む国々では、今後予防保全のニーズが高まることが予想されます。同社の技術がグローバルに活躍することが期待されています。

※この取り組みは、我が国の中小企業などの製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、現地での適合性を高め、普及を図ることを目的とした「普及・実証事業」として実施されるものです。企業への個別の取材を希望される場合はご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 小西 陽子

TEL 078-261-0397 e-mail:Konishi.Yoko.2@jica.go.jp